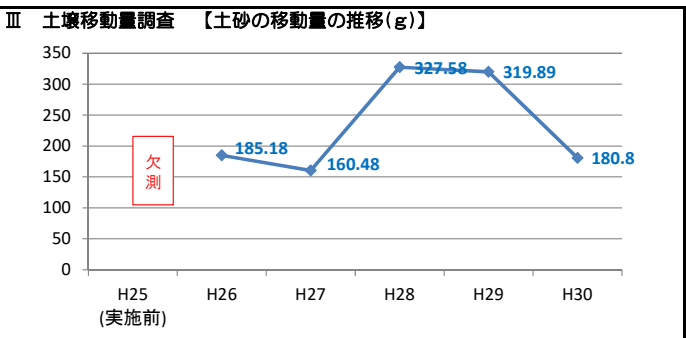
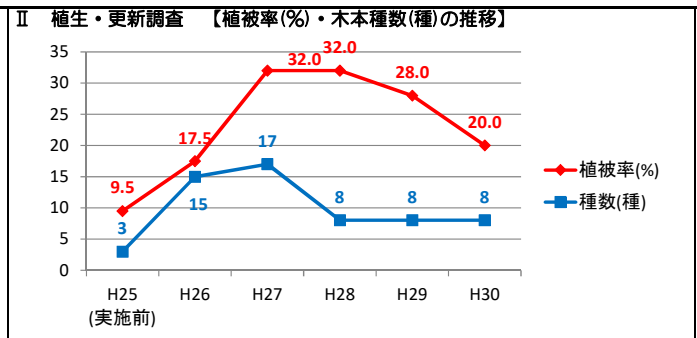
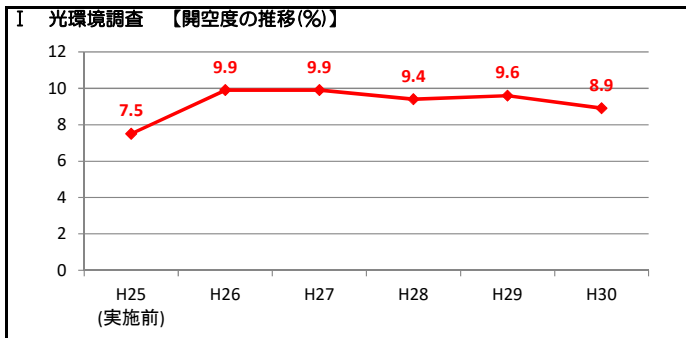
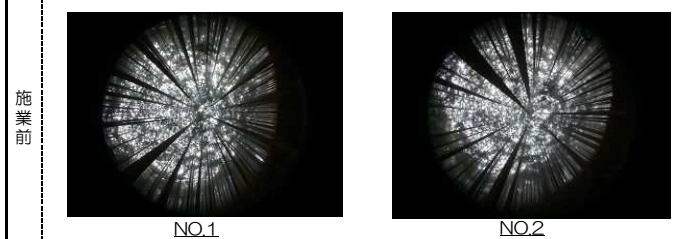


事業概要
樹種 杉・ヒノキ
間伐 0.87ha
間伐率 30%

位置図



状況写真



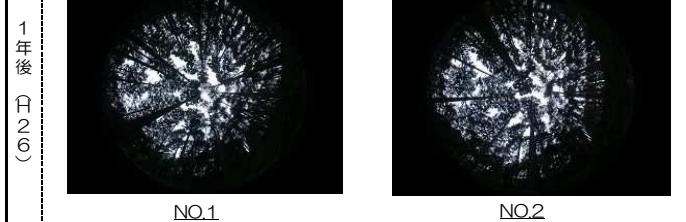
状況写真



状況写真



1年後 (H26)



1年後 (H26)

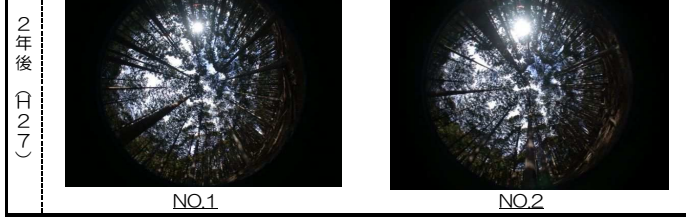


【現況】

毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	65	37	
平均胸高直径(cm)	22.6	25.6	

・間伐の実施により、林内が明るくなった。
・地表面の平均傾斜は33°と比較的急勾配。
・部分的にスギの落葉等に覆われており、林床部は安定している。

2年後 (H27)











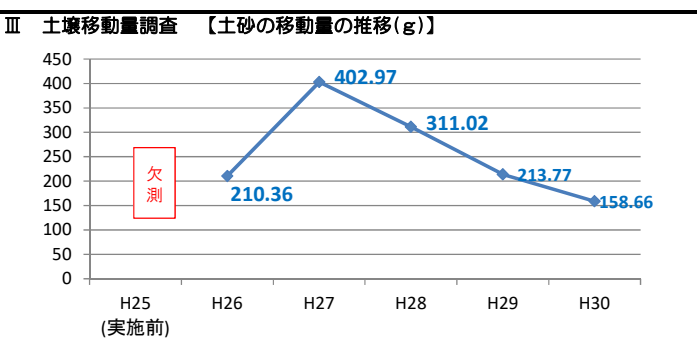
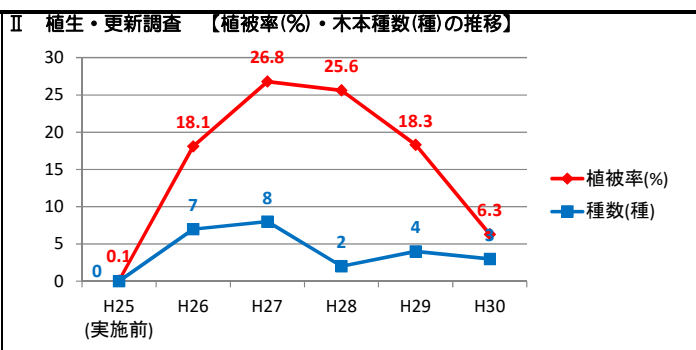
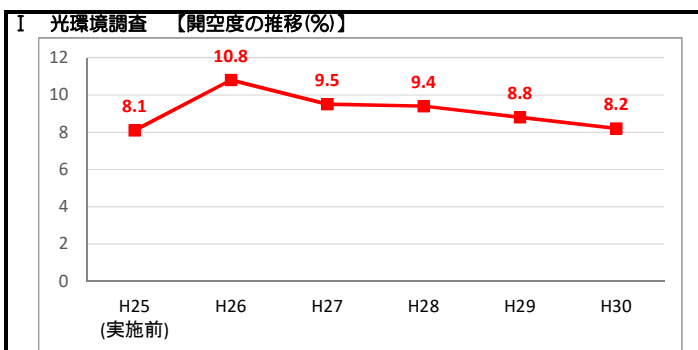
2年後 (H27)



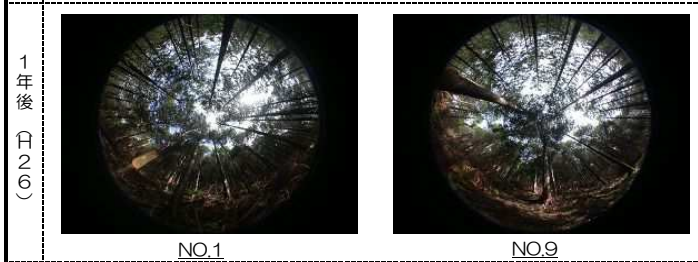
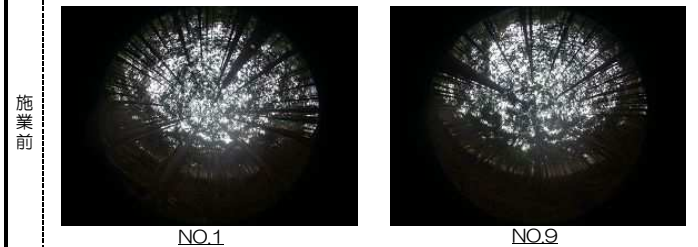
【所見】

・植被率は低下したものの、木本種数は維持されていた。
・土砂移動量は多かったが、減少に転じた。

状況写真		状況写真			
3 年 後 H 2 8 ( NO.1	 NO.2	 NO.4	 NO.10	
4 年 後 H 2 9 ( NO.1	 NO.2	 NO.4	 NO.10	
5 年 後 H 3 0 ( NO.1	 NO.2	 NO.4	 NO.10	



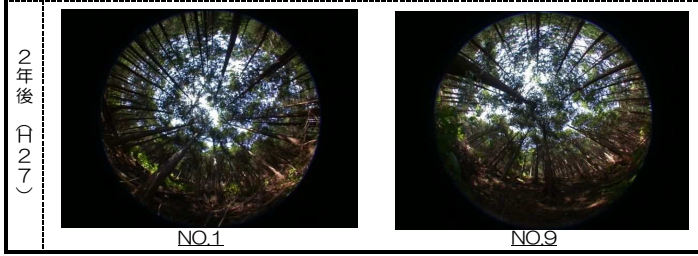
状況写真



【現況】













毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	63	37	
平均胸高直径(cm)	21.5	24.9	

- ・間伐の実施により、林内が明るくなった。
- ・地表面の傾斜は35°と急勾配。
- ・伐採木が林内に残置されている。
- ・腐植層は薄く、表土が露出しているが、安定している。



【所見】

- ・開空度は間伐後の状態をほぼ維持していた。
- ・土壌移動量は継続して減少した。
- ・植被率は低下し、木本種数の回復も緩慢であることから、今後の推移を注視する必要がある。

状況写真		状況写真			
3 年 後 H28 ( <p>NO.1</p>	 <p>NO.9</p>	 <p>NO.6</p>	 <p>NO.8</p>	
4 年 後 H29 ( <p>NO.1</p>	 <p>NO.9</p>	 <p>NO.6</p>	 <p>NO.8</p>	
5 年 後 H30 ( <p>NO.1</p>	 <p>NO.9</p>	 <p>NO.6</p>	 <p>NO.8</p>	



【施業前1】



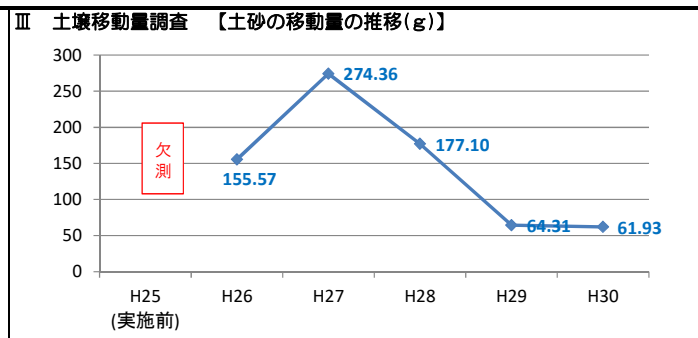
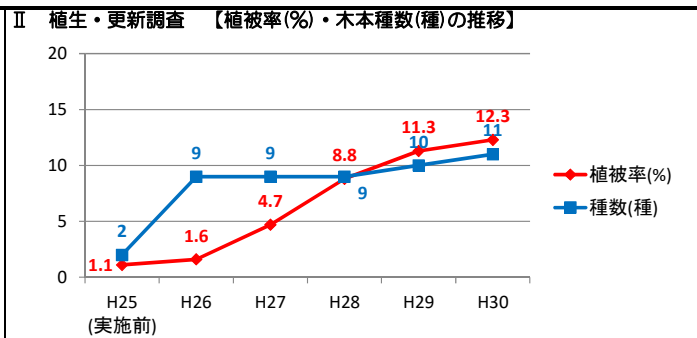
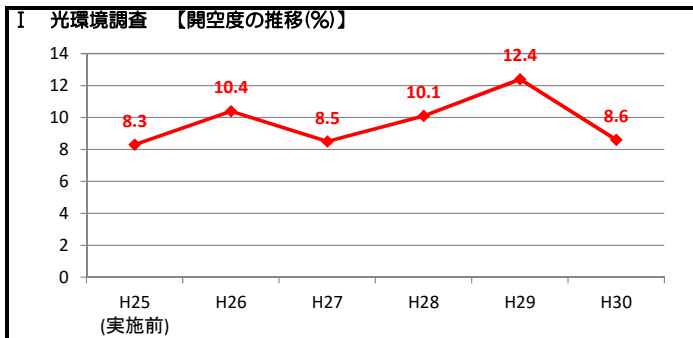
【施業後1】



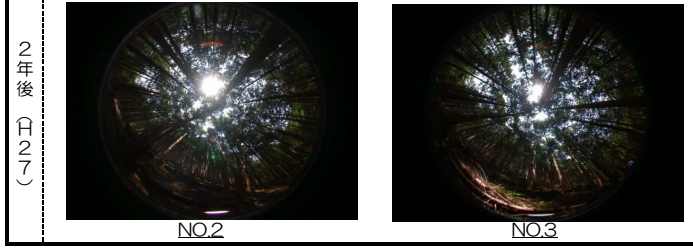
【施業前2】



【施業後2】



状況写真



状況写真



状況写真















【現況】

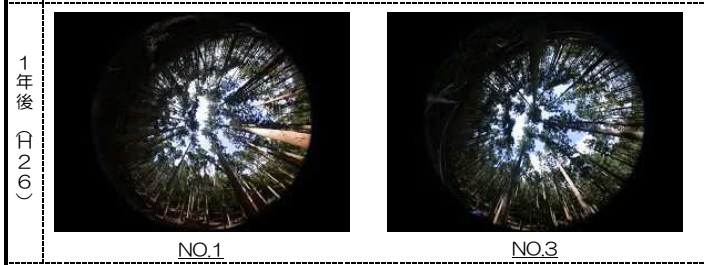
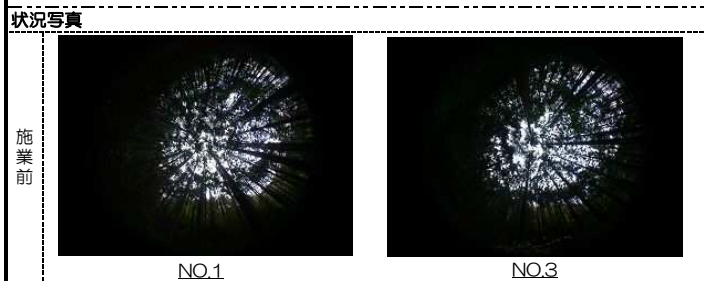
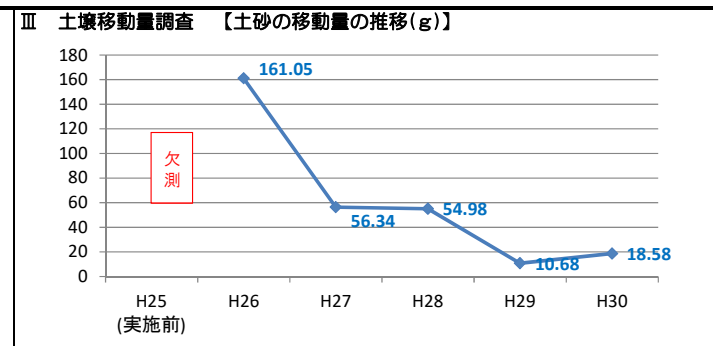
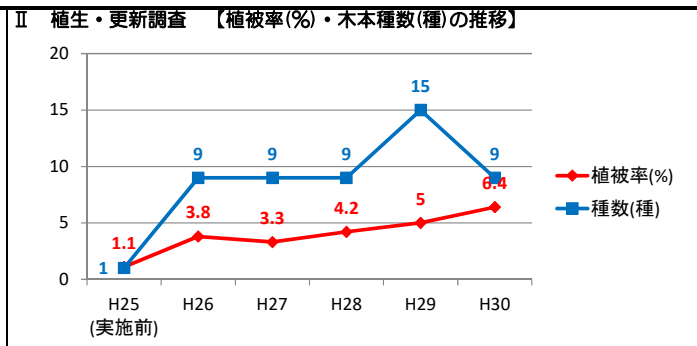
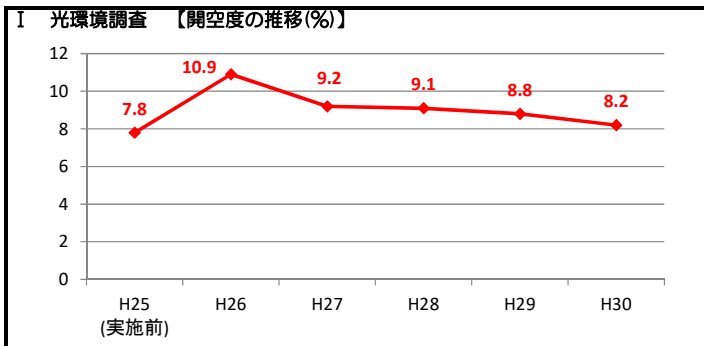
毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数(本)	82	55	
平均胸高直径(cm)	18.5	20.8	

- ・間伐の実施により、林内が明るくなった。
- ・地表面の平均傾斜は37°と急勾配。
- ・伐採木が林内に集積されている。
- ・腐植層は薄く、表土が露出しているが、安定している。

【所見】

- ・開空度は間伐後の状態から上昇し、植被率も上昇している。
- ・土砂の移動量は減少し、植被率の上昇が寄与していると考えられる。

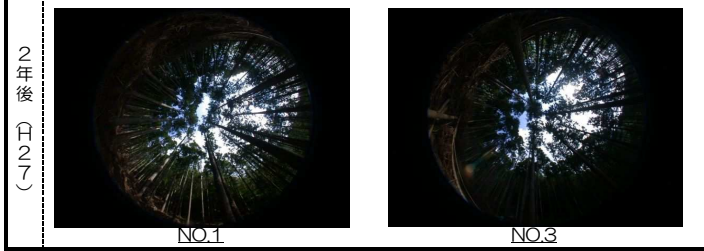
状況写真		状況写真				
3 年 後 H 2 8 ( NO.2	 NO.3	3 年 後 H 2 8 ( NO.4	 NO.9	
4 年 後 H 2 9 ( NO.2	 NO.3	4 年 後 H 2 9 ( NO.4	 NO.9	
5 年 後 H 3 0 ( NO.2	 NO.3	5 年 後 H 3 0 ( NO.4	 NO.9	



【現況】





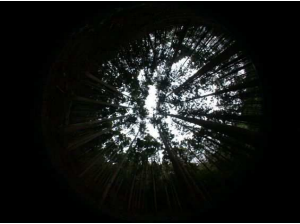







毎木調査項目	施業前	施業後	備考
調査区内立木本数 (本)	50	27	
平均胸高直径 (cm)	24.4	32.4	

- ・間伐の結果、林内が明るくなった。
- ・地表面の傾斜は 3.2° と比較的急勾配。
- ・搬出後の残材が林内に置かれた状態になっている。
- ・スギの落葉が厚く堆積していることから、現時点では洗掘等土砂流出の痕跡は見られない。



【所見】

- ・植被率に増加傾向が見られる。
- ・土砂の移動量は減少し、表土が浸食を受けた痕跡は見られず、安定している。

状況写真		状況写真			
3 年 後 H 2 8 ( <p>NO.1</p>	 <p>NO.3</p>	 <p>NO.1</p>	 <p>NO.8</p>	
4 年 後 H 2 9 ( <p>NO.1</p>	 <p>NO.3</p>	 <p>NO.1</p>	 <p>NO.8</p>	
5 年 後 H 3 0 ( <p>NO.1</p>	 <p>NO.3</p>	 <p>NO.1</p>	 <p>NO.8</p>	